

地下鉄短信(第66号)

平成25年3月 日発行

編集 (社)日本地下鉄協会広報部 責任者 向田正博

電話 03-5577-5182(代) FAX 03-5577-5187

記事 1. 「地下鉄施設等の保守、維持に関する研究会(第4回車両部会)」を開催

1. 地下鉄施設等の保守、維持に関する研究会(第4回車両部会)を開催しました。

去る3月4日(月)14時から5日(火)12時にかけて、横浜市営地下鉄ブルーライン関内駅及び上永谷車両修繕工場において、地下鉄8事業者(東京地下鉄(株)、大阪市交通局、名古屋市交通局、横浜市交通局、京都市交通局、神戸市交通局、福岡市交通局、仙台市交通局)の参加を得て、重要部検査及び全般検査の周期延長を実現するための研究会(車両部会)を開催いたしました。

この車両部会は前年度から継続して開催しているもので、過去3回の車両部会では、告示で定められて検査周期(重要部検査は4年、60万^キ走行以内、全般検査は8年)を延長するための手法等について、過去に実施された検査周期延長事例を基に鉄道総合技術研究所鉄道技術推進センターのアドバイスを得ながら研究を進め、周期延伸に必要な知見を取得しております。3月4日に開催した第4回車両部会では、現状で各事業者が考える具体的な延伸試験工程及び延伸試験において耐久性を調査する必要のある部品、制約ではないが各事業者での使用実績等を踏まえて耐久性を確認する部品について、各々発表いただき、これについて全体で討議した。また、翌日の3月5日は横浜市交通局の上永谷車両修繕工場会議室に場所を移して、既にブルーラインの車両で周期延伸している横浜市での車両検査の実態及び輪重の変動状況、車両走行キロ管理など周期延伸時の注意点について調査を行いました。

熊谷車両課長のご挨拶(関内駅会議室)



上永谷車両修繕工場 会議室



平成25年度「児童福祉週間」の標語 ; 入選作品

見つけてね 君にしかない たからもの (いけもと りな さん 28歳 香川県)

(注) 必要に応じ、社内へ転送、回覧などをお願いします。

配信先を変更又は追加した方がよい場合は、新しい配信先の職名、氏名及びメールアドレスをお知らせ下さい。

本短信について、ご意見をお寄せ下さい。

連絡先： mukaida@jametro.or.jp